

(様式共通第3号)

宮城県加美農業高等学校マイスター・ハイスクール事業実施報告書
高校教育課 様

加美農業高等学校長

標記の件について、下記の通り報告します。

記

提出年月日 7 年 3 月 24 日

プログラム No.		プログラム名称	スマート農業
学 科 名	農業機械科及び農業科	担 当 者 名	岡本千太郎
参 加 生 徒	農業科2学年 農業機械科1,2学年	延 べ 人 数	52名
実 施 会 場	宮城県加美農業高等学校		
実 施 目 標	① G.P.Sリモート農業機械の活用および操作について学ぶ。 ② センシングによる効果的な栽培法について学ぶ。 ③ スマート農業の将来性について学ぶ。		
実 施 内 容	① 密植栽培苗を使った自動化田植機の運転操作体験授業 ② 衛星データ Xarvio field manager のセンシング活用体験授業 ③ 農業用ドローンによる農薬散布実践授業 ④ オートコンバインによる無操作稲刈り体験授業		
実施日・実施回数 及び実施時数	4月19日(金)、5月17日(金)、6月14日(金)、10月4日(金) の4回×4時間=16時間		
外 部 講 師	区 分	<input type="checkbox"/> 産業実務家教員 <input type="checkbox"/> 産業連携CD <input checked="" type="checkbox"/> その他(協力企業)	
	所属・役職・氏名	㈱宮城ヤンマー商会 営業企画部長 斎藤 様 他 ヤンマーアグリジャパン(株) 南東北営業部 住本 様 他	
教育課程への位置付け		<input type="checkbox"/> 総合実習 <input type="checkbox"/> 課題研究 <input checked="" type="checkbox"/> その他(科目:農業機械・農業と情報)	
記 録 写 真			
実 施 果	① 高性能高額な機械の操作を通して、生徒の先進農業への興味関心が増した。 ② 自動運転やセンシングで衛星データの活用に触れ、IOTの実践学習ができた。 ③ 先輩や社会人講師からの学びで、卒業後の進路に対するビジョン設定ができた。		
実 施 課 題	① 県内農業高校を中心に同様の連携事業企画が増え、企業負担になってきた。 ② 体験を深化させるために、学校の施設・設備の更新が不可欠になってきている。 ③ どうしても就職と結びついた企業宣伝を意識することがある。		
備 考		

(※1) プログラム No. は予算等管理用『事業計画一覧表』の No. と一致させてください。

(※2) 産業実務家教員等に関しては、授業単元毎、月毎など作成区分を工夫ください。